

8 (自由提案部門)

事業名	地域資源活用事業
実施主体	荒島地区活性化推進協議会
県担当課	地域政策課地域振興室

事業の成果

事業の目的 [地域づくり]

- 安来市荒島町には、中海や大山を展望する丘陵地に古代(弥生・古墳時代)の王墓が多く残されているほか、廣田亀次郎・ト蔵孫三郎などの足跡が顕彰されている。
- こうした「古代からの贈り物」みんなで歩こうをテーマに、ホームページ・ガイドマップ・案内看板の整備・ガイドの養成などを行い地区内は基より広く全国に PR、それに対応する体制づくりを進めることによって、多くの方に来県を促す事が可能となる。

事業の内容

- ガイド養成のための講演会を開催した。また、講演を受け勉強会を行い、ボランティアガイド10名を養成するとともに、ガイド養成用マニュアルを作成した。
- JR 荒島駅前にウォーキングコースを表示し、荒島地区の史跡名所が一目でわかる様にするるとともに、現地2カ所に由来などを記載した看板を設置した。
- ガイドマップを作成し、荒島の遺産探訪、また、健康づくりを兼ねたウォーキング等の来訪者に案内ガイド用として配布。
- 荒島活性化推進協議会ホームページを立ち上げ、情報発信を行った。



目的の達成状況 [概ね達成できた]

【成果】

- ホームページ開設により県内外より来訪者が多くなってきた。(アクセス 1.850)
- ボランティアガイド10名の養成が出来、案内資料も整った。

【不十分】

- ガイドで広い野外での説明がやり難い、離れて居ると聞きとりにくい面がある。
- ガイドで出土品など説明用の手元資料がなく口頭では分かりにくい。
- 市所有の看板に出土品など写真の記載がない。

反省点・改善点

- 野外で説明時、ワイヤレスマイク・イヤホンがあると離れて居ても説明が出来る。
- ガイドが出土品など説明用の写真(A4サイズ)資料の作成が必要。
- 市所有の看板に出土品など写真の記載要請。
- ガイドの増員と養成講習会の開催。

協働の効果

県との協働内容 [協働して実施した]

- 担当課および安来市等と協議を行いながら事業を進めた。
- ホームページの内容、県・市その他からのアクセスが出来る作業について。
- 事業内容・予算変更など。

県との協働効果 [十分効果があった]

- 県との協働する事により地元の熱意も上がり、幅広い活動ができた。

県への要望事項 [特にない]

反省点・改善点 [特にない]

市町村との協働 [協働して実施した]

- HP・ガイドマップ・ガイドマニュアル作成にあたり、資料の提供。
- ガイドマニュアルの遺跡など記載内容についてチェックを依頼。

事業の継続

事業成果の活用 [活用されている]

- ホームページのアクセス件数 1,850(4/1~5/15)
- ガイド講習時の資料として活用 (7/2.7/9 受講者 15名)

事業の継続状況 [助成を受けずに継続実施している]

- 一部自己資金を使い、ガイド講習・講演会の開催を実施。

協働による発展 [協働により発展できる]

[達成状況] で不十分だった点の整備が出来れば、よりこの事業を発展させて行くことができる。

